

きょうほく



がんばれ!!

穴山婦人消防隊



穴山婦人消防隊(生山陽子隊長)は、十月七日、横浜市で開催される全国婦人消防操法大会に山梨県代表として出場することになりました。

この大会は、家庭における実質の火気取扱責任者である婦人の手により、家庭防火を図るとともに安全な地域社会をつくることを目的に全国の婦人消防隊の代表が一堂に会し、消防技術の向上と土気の高揚を図るため実施されるものです。

婦人消防操法は、指揮者と四人の隊員が協力し、放水を行うまでの動作の迅速的確さを競うものです。

穴山婦人消防隊は、日頃の活動が優秀であると認められ、日本消防協会から優良婦人消防隊として表彰されています。

今大会においても、この榮譽に恥じない優秀な成績をあげられるよう猛練習を行っていますので、地域の皆さんの温かいご声援をお願いします。

と救急

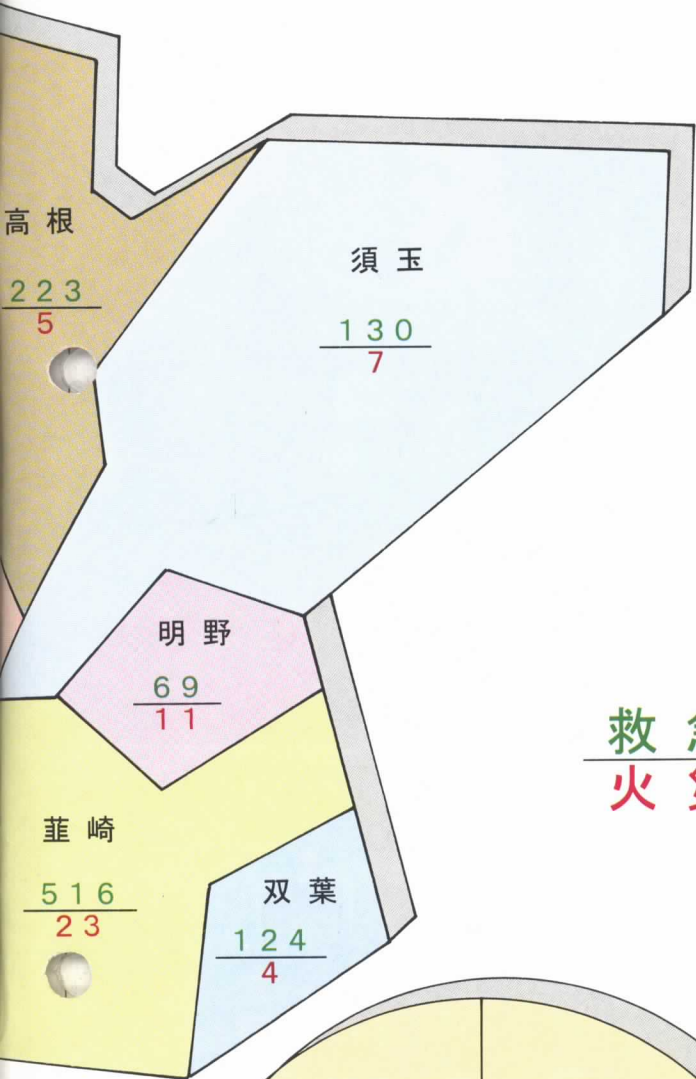
—昭和61年中—

火災が大幅に増加

救急も増加しています

昭和六十一年中の火災発生件数は七十四件（前年比七十二%増）と大幅に増えました。これは過去五年間で最も多い件数で、この要因については様々ですが、昨年の冬から春先にかけての乾燥期間が例年になく長く、空気の乾燥と出火機会の因果関係を示しています。

また、救急出場件数も千六百二十七件（前年比七%増）と増加し、この傾向は数年来続いており、十年前と比較して、約一・三倍となっています。



救急 火災



出火件数

昭和六十一年中における出火件数は七十四件で前年に比べ三十一件増と大幅に増えました。これは、約五日に一件の割合で火災が発生したことになります。

損害額

火災による損害額は八千六百四十六万円余で前年の一億五千六百四十四万円余に比較して六千五百十八万円余の減少となりました。

死者・負傷者

火災による死者は四名、負傷者も四名と前年の死者一名、負傷者一名に比べ、両者とも四倍の増加となっています。

火災種別

これを火災種別にみますと建物火災が最も多く三十四件、林野火災十八件、車両火災四件、その他十八件となっており、前年と比較して全ての種別において増加しています。

